WE リーグ新型コロナウイルス感染症対応ガイドライン　改定内容一覧【2022 年 8月 10 日】

改定点

第 7 波を受け検査体制を強化するとともに、前回の改定に続き対策の強弱を示し、環境消毒や運営細則等の過度な制限について見直せる部分を改定した。

1　環境消毒の考え方の見直し

2　試合運営プロトコルの細則の見直し

3　濃厚接触者の待機期間短縮

赤字が改定点

特記のない場合、プロトコル 7 ではレベル 1 、レベル 2 双方を改定

1．環境消毒の考え方の見直し

No	現行版	8 /10 改定	改定ポイント
1	プロトコル 4 サッカーのトレーニング XIX. トレーニング時の留意点 67.トレーニング全体を通じて注意すること (1) 人と人の接触を減らす • 同じ時刻に練習場に来る人数を減らす • 同時に同じ部屋にいる人数を減らす • 選手とスタッフの動線を分ける (2) 共通のモノを通じた接触を減らす、またはこまめに消毒する • 用具、ドアノブ、エレベーターのボタン	プロトコル 4 サッカーのトレーニング XIX. トレーニング時の留意点 67.トレーニング全体を通じて注意すること (1) 人と人の接触を減らす • 同じ時刻に練習場に来る人数を減らす • 同時に同じ部屋にいる人数を減らす • 選手とスタッフの動線を分ける (2) （削除）	● 医療機関等における環境消毒の考え方が見直されているに状況に鑑み改定 ● 接触感染リスクに対する過剰な対応は廃止 ● 米CDC(疾病対策予防センター)のガイドラインを参考に専門家の助言を受けて決定 【継続】

WE リーグ新型コロナウイルス感染症対応ガイドライン　改定内容一覧【2022 年 8月 10 日】

No	現行版	8/10 改定	改定ポイント
	(3) 全員が感染防止マナーを守る • 身体的距離（できるだけ 2m、最低 1m） • 咳エチケット（マスク着用を含む） • 手洗い、手指消毒 • 不用意に自分の顔、とくに目・鼻・口などの粘膜に触れない • 頻繁な握手、ハイタッチ、抱擁、グラウンド上で唾や痰やうがいしたものを吐く行為も感染リスクにつながる	(3) 全員が感染防止マナーを守る • 身体的距離（できるだけ 2m、最低 1m） • 咳エチケット（マスク着用を含む） • 手洗い、手指消毒 • 不用意に自分の顔、とくに目・鼻・口などの粘膜に触れない • 頻繁な握手、ハイタッチ、抱擁、グラウンド上で唾や痰やうがいしたものを吐く行為も感染リスクにつながる	• 手洗い手指消毒の励行 • 手指消毒液の設置（食事会場・マッサージルーム・ミーティングルーム・廊下・自室・スタジアムの来場ゲート） • 食事の直前の手指消毒（手洗い） • マッサージ、ジムの器具の消毒 • 更衣室の消毒 継続事項の順守を前提に以下は廃止する 【廃止】 • 試合開始前のボール、コーナーフラッグ、ゴールポストの消毒 • ハーフタイムのボールの消毒 • クラブハウス内のドアノブ・エレベーターのボタン消毒

WE リーグ新型コロナウイルス感染症対応ガイドライン　改定内容一覧【2022 年 8月 10 日】

No	現行版	8/10 改定	改定ポイント
			• 食事会場での配膳台で改めての消毒 • バス会社による都度の車内消毒 • チームが使用する宿泊施設の宿泊施設による部屋の消毒・換気依頼 • スタジアムにおけるチームが使用する「全ての」場所（更衣室は消毒を継続） • 記者用マイクの消毒（マスク着用が前提）
2	80. ピッチ上での対人接触回避 (1) フェーズ 3 までは、身体接触のない、選手間の距離（できるだけ 2m、最低 1m）をとるトレーニング計画とする (2) ボール等、用具を介した感染可能性はゼロでない • 適宜の消毒が推奨される（ドイツ、イングランドで実施） • 不用意に自らの顔（とくに目・鼻・口といった粘膜部）に触れることを避ける	80. ピッチ上での対人接触回避 (1) フェーズ 3 までは、身体接触のない、選手間の距離（できるだけ 2m、最低 1m）をとるトレーニング計画とする (2) （削除） • 不用意に自らの顔（とくに目・鼻・口といった粘膜部）に触れることを避ける	● 食事会場に入る前に手指消毒もしくは手洗いを行うことで、配膳時に再度の消毒は不要とする
3	82. 練習場での食事 (1) 食事を提供したい場合、選手の席は 1.5～2m の距離をあけるかパーテーションを置き、黙食とする	82. 練習場での食事 (1) 食事を提供したい場合、選手の席は 1.5～2m の距離をあけるかパーテーションを置き、黙食とする	● 食事会場に入る前に手指消毒もしくは手洗いを行うことで、配

WE リーグ新型コロナウイルス感染症対応ガイドライン　改定内容一覧【2022 年 8月 10 日】

No	現行版	8/10 改定	改定ポイント
	(2) 十分に広い部屋がない場合、グループ分けして食事時間をずらす (3) ビュッフェ形式の場合、配膳台で改めて消毒をし、大皿に唾液が飛ぶような会話などないよう留意する (4) 十分に健康管理しているスタッフが専任で食事を取り分ける方式も許容される (5) 料理に覆いがあるとなお望ましい (6) 食事の場所でも、実際に食事をとるとき以外は、マスクを着用する。たとえば入室し、食事を受け取り、着席するまでの間も、マスクを着用する	(2) 十分に広い部屋がない場合、グループ分けして食事時間をずらす (3) ビュッフェ形式の場合、（削除）、大皿に唾液が飛ぶような会話などないよう留意する (4) 十分に健康管理しているスタッフが専任で食事を取り分ける方式も許容される (5) 料理に覆いがあるとなお望ましい (6) 食事の場所でも、実際に食事をとるとき以外は、マスクを着用する。たとえば入室し、食事を受け取り、着席するまでの間も、マスクを着用する	膳時に再度の消毒は不要とする
4	プロトコル 5 チームの移動、宿泊 XX.チームの都市間移動 85. バスによる長距離移動 (1) バス会社への事前の依頼事項 • 事前の車内消毒 • 運転手の体調管理。マスク、手指衛生 (2) バス車内での身体的距離 • 欧州ではバス内の人数を減らすため、複数台での移動を義務づけています（1 台 25 人まで等）。とくにバス移動が長時間（2 時間以上等）にわたる場合、ご検討ください (3)その他の注意事項 • バス内ではマスクを正しく着用する • 窓を開けて、換気する。1 時間につき 3 回の換気が推奨される • サービスエリア等での休憩時もマスクを着用し、感染予防に資する行動をとる	プロトコル 5 チームの移動、宿泊 XX.チームの都市間移動 85. バスによる長距離移動 (1) バス会社への事前の依頼事項 • （削除） • 運転手の体調管理。マスク、手指衛生 (2) バス車内での身体的距離 • 欧州ではバス内の人数を減らすため、複数台での移動を義務づけています（1 台 25 人まで等）。とくにバス移動が長時間（2 時間以上等）にわたる場合、ご検討ください (3)その他の注意事項 • バス内ではマスクを正しく着用する • 窓を開けて、換気する。1 時間につき 3 回の換気が推奨される • サービスエリア等での休憩時もマスクを着用し、感染予防に資する行動をとる	● 利用者側が基本的な感染対策を行うことで充足

WE リーグ新型コロナウイルス感染症対応ガイドライン　改定内容一覧【2022 年 8月 10 日】

No	現行版	8/10 改定	改定ポイント
5	プロトコル 5 チームの移動、宿泊 XXI. チームの宿泊 86. 宿泊施設の従業員や利用客との接触を減らすよう、工夫する (1) 施設単位またはフロア単位での貸し切りを検討する (2) チーム専用の入り口、動線、エレベーター等を設置できないか、検討する (3) 動線（共用の廊下やロビー等）、エレベーターについては、時間を指定することでの“専有化”も検討 (4) 食事会場はチーム専用が望ましく、難しい場合も会場の一角を専用化するなど、常時 2m以上離れる (5) チームが使用する部屋は事前に消毒、換気します（宿泊施設への依頼） (6) 連泊する場合の客室の清掃 • チームの不在時に清掃する。または、清掃しないことも選択肢となる	プロトコル 5 チームの移動、宿泊 XXI. チームの宿泊 86. 宿泊施設の従業員や利用客との接触を減らすよう、工夫する (1) 施設単位またはフロア単位での貸し切りを検討する (2) チーム専用の入り口、動線、エレベーター等を設置できないか、検討する (3) 動線（共用の廊下やロビー等）、エレベーターについては、時間を指定することでの“専有化”も検討 (4) 食事会場はチーム専用が望ましく、難しい場合も会場の一角を専用化するなど、常時 2m以上離れる (5) （削除） (6) 連泊する場合の客室の清掃 • チームの不在時に清掃する。または、清掃しないことも選択肢となる	● 定期的な手指消毒もしくは手洗いを行うことで充足
6	プロトコル 5 XXI.チームの宿泊 91. 食事 (1) 食事を提供したい場合、選手の席は 1.5～2m の距離をあけるかパーテーションを置き、黙食とする (2) 十分に広い部屋がない場合、グループ分けして食事時間をずらす (3) ビュッフェ形式の場合、配膳台で改めて消毒をし、大皿に唾液が飛ぶような会話などないよう留意する (4) 十分に健康管理しているスタッフが専任で食事を取り分ける方式も許容される	プロトコル 5 XXI.チームの宿泊 91. 食事 (1) 食事を提供したい場合、選手の席は 1.5～2m の距離をあけるかパーテーションを置き、黙食とする (2) 十分に広い部屋がない場合、グループ分けして食事時間をずらす (3) ビュッフェ形式の場合、（削除）大皿に唾液が飛ぶような会話などないよう留意する (4) 十分に健康管理しているスタッフが専任で食事を取り分ける方式も許容される (5) 料理に覆いがあるとなお望ましい	● 食事会場に入る前に手指消毒もしくは手洗いを行うことで、配膳時に再度の消毒は不要とする

WE リーグ新型コロナウイルス感染症対応ガイドライン　改定内容一覧【2022 年 8月 10 日】

No	現行版	8/10 改定	改定ポイント
	(5) 料理に覆いがあるとなお望ましい (6) 食事の場所でも、実際に食事をとるとき以外は、マスクを着用する。たとえば入室し、食事を受け取り、着席するまでの間も、マスクを着用する	(6) 食事の場所でも、実際に食事をとるとき以外は、マスクを着用する。たとえば入室し、食事を受け取り、着席するまでの間も、マスクを着用する	
7	プロトコル 7 XXXII. 会場運営 3. スタジアムの衛生管理 (1) 使用するすべての部屋に消毒液を設置する (2) トイレには、手を拭くためのペーパータオル（使い捨て）を用意する。また手洗い場には、石鹸（ポンプ型が望ましい）を用意する (3) チーム到着前に、チームが使用を予定する場所すべてを消毒する。更衣室は、試合の前半中にもう一度消毒する。チーム到着より遡って 48 時間以内に施設利用がない場合は、消毒しなくてよい (4) ドアはできるだけ開けたままとする。ドアノブに触れる頻度を下げるため	プロトコル 7 XXXII. 会場運営 3. スタジアムの衛生管理 (1) 使用するすべての部屋に消毒液を設置する (2) トイレには、手を拭くためのペーパータオル（使い捨て）を用意する。また手洗い場には、石鹸（ポンプ型が望ましい）を用意する (3) 更衣室は、チーム到着前と試合の前半中に消毒する。ただし、チーム到着より遡って 48 時間以内に施設利用がない場合は、消毒しなくてよい (4) 屋内諸室は定期的な換気を行う。機械換気による常時換気又は窓開け換気が望ましい。 （参考）基本的対処方針に基づくイベントの開催制限、 施設の使用制限等に係る留意事項等について（2022 年 7 月 15 日付政府事務連絡 抜粋） https://corona.go.jp/package/assets/pdf/jimurenraku_seigen_20220715.pdf イベント開催等における必要な感染防止策 • 必要な換気量（一人当たり換気量 30m3/時を目安）を確保するため、二酸化炭素濃度を概ね 1,000ppm 以下を目安とする。二酸化炭素濃度測定器の活用が効果的である • 機械換気が設置されていない場合の窓開け換気は、2 方向の窓開けが望ましい	● 更衣室は限られた空間で大人数が一度に使用し、かつ試合の直前、直後はマスクを外して利用されることもあるため、消毒措置を継続する。 ● 令和４年７月 15 日付の政府事務連絡に基づき、屋内諸室に関する換気のガイドラインを反映

WE リーグ新型コロナウイルス感染症対応ガイドライン　改定内容一覧【2022 年 8月 10 日】

No	現行版	8/10 改定	改定ポイント
		• 機械換気、窓開け換気ともに相対湿度の目安は 40-70%	
8	プロトコル 7 XXXV. チーム、審判員、及び競技 6. 競技用具、備品の消毒 (1) 試合開始前にボール、コーナーフラッグ、ゴールポストを消毒する (2) ボールは、ハーフタイムにも消毒する	プロトコル 7 XXXV. チーム、審判員、及び競技 6. 競技用具、備品の消毒 （削除）	● 主管クラブ任意とする

2. 試合運営プロトコルの細則の見直し

No	現行版	8/10 改定	改定ポイント
9	プロトコル 7 XXXV. チーム、審判員、及び競技 7. ボールパーソン、担架要員 (1) ボールパーソン、担架要員の人数をできるだけ少なくする (2) 試合実施要項の［試合球］の定めに関わらず、上記の目的のために 8 個以上のボールを使用することは許容される	プロトコル 7 XXXV. チーム、審判員、及び競技 7. ボールパーソン、担架要員 (1) （削除） (2) 試合実施要項の［試合球］の定めに関わらず、2022-23 シーズンにおいては 8 個以上のボールを使用することは許容される	● ボールパーソンの基本的な感染対策を前提に人数制限は廃止 ● ただしボールの個数の定めはシーズン終了後に見直す
10	プロトコル 7 XXXII.会場運営 7. 大型映像装置、場内放送の運用 (1) 操作室に三つの密が生じないよう、最少人数での運用を工夫する ・操作室では必ずマスクを着用する (2) WE リーグの試合実施要項［スタジアムにおける告知等］に定める事項は通常通り実施する	プロトコル 7 XXXII.会場運営 7. 大型映像装置、場内放送の運用 (1) 操作室は定期的に換気され、使用者はマスクを着用する。 (2) WE リーグの試合実施要項［スタジアムにおける告知等］に定める事項は通常通り実施する (3) ホームクラブ独自の告知事項等は、普段の試合と変わらず、容認される	● 基本的な感染対策を前提に人数上限は廃止

WE リーグ新型コロナウイルス感染症対応ガイドライン　改定内容一覧【2022 年 8月 10 日】

No	現行版	8 /10 改定	改定ポイント
	(3) ホームクラブ独自の告知事項等は、普段の試合と変わらず、容認される		
11	プロトコル 7 XXXV.チーム、審判員、及び競技 12. 選手及び審判団のピッチ入場～キックオフ (1) 両チーム選手及び審判団は整列の上、一緒に入場する (2) 入場前は身体的距離（できるだけ 2m、最低 1m）を保つよう十分配慮する (3) フェアプレー旗、クラブ旗、エスコートキッズ、選手や審判員の表彰、来賓などによるキックオフセレモニー等を実施する場合 ・入場動線を選手と別にするなど密を避ける工夫をすること ・陰性確認した者が望ましい（72 時間以内の PCR 検査か当日の抗原定性検査を目安に主管クラブが決定） ・陰性確認ができない場合はピッチ上で選手と身体的距離（最低 1m）を取ること (4) ピッチ上で演出の都合でセレモニーの出演者がマスクを外す場合は陰性確認ができていることが望ましい (5) ピッチ上で握手セレモニーは行わない (6) チームの集合写真撮影は認められる。但し、掛け声は禁止とす	プロトコル 7 XXXV.チーム、審判員、及び競技 12. 選手及び審判団のピッチ入場～キックオフ (1) 両チーム選手及び審判団は整列の上、一緒に入場する (2) ピッチ上で握手セレモニーは行わない (3) 試合前にセレモニーを実施する場合 • 密を避ける工夫をすること（例：入口が狭い場合は入場動線を選手と別にするなど） • マスク着用、もしくはピッチ上で選手と身体的距離（2m）を取ること。声を出す場合はマスク着用が望ましい。 • 演出上マスクを外す場合は、2m 未満の近い距離で行う、もしくは 2m 以上離れていても大声を出す際には、陰性確認することが望ましい（検査方法は 72 時間以内の PCR 検査か当日の抗原定性検査を目安に主管クラブが決定）。 • 手をつなぐ演出を行う場合、セレモニー前後に手を洗うもしくは消毒することが望ましい • チームの集合写真撮影は認められる。但し、掛け声は禁止とす	● 試合前のセレモニーの細則の見直し

WE リーグ新型コロナウイルス感染症対応ガイドライン　改定内容一覧【2022 年 8月 10 日】

No	現行版	8 /10 改定	改定ポイント
	る。	る。 (4) 試合終了時のセレモニー ・両チームおよび審判団はピッチ中央に集まり通常どおり挨拶ができる。ただし、握手やハイタッチの代わりとしてグータッチが望ましい。 ・チームとして集まってファン・サポーターに挨拶する等を行う場合、観客からの身体的距離（できるだけ２m、最低 1m）を確保すること。	
12	プロトコル 7 XXXV.チーム、審判員、及び競技 13. ピッチ周辺でのクラブパートナー/スポンサーの露出 (1) 広告看板、バナー等は、通常の試合と同様に掲出される (2) 演出時に身体的距離（できるだけ 2m、最低 1m）を保つ	プロトコル 7 XXXV.チーム、審判員、及び競技 13. ピッチ周辺でのクラブパートナー/スポンサーの露出 (1) 広告看板、バナー等は、通常の試合と同様に掲出される (2) ピッチ上でイベントを実施する場合、前条 12-(3)に準ずる	● 試合前のセレモニーの細則の見直し
13	プロトコル 7 XXXII. 会場運営 5.スタジアムへの入退場の管理（ファン・サポーター） (4) ゲートスタッフは、券面チェックのみ実施し、お客様にもぎってもらう（QR チケットでの入場を実施するクラブは、ワンタッチパスの端末で認証）	プロトコル 7 XXXII. 会場運営 5.スタジアムへの入退場の管理（ファン・サポーター） (4) ゲートスタッフは、定期的な手指衛生（消毒もしくは手洗い）を行いチケットもぎりの対応を行う。（QR チケットでの入場を実施するクラブは、ワンタッチパスの端末で認証）	● 実態に即して見直し
14	プロトコル 6 無観客での試合開催、プロトコル 7 制限付きの試合 開催ともに改定 9. 競技規則、試合実施要項等の適用 (1) 交代選手数を 5 人まで認める FIFA の特別ルールを適用する (2) 飲水タイムに関する通知は 2022 年 3 月 5 日付で実施	プロトコル 6 無観客での試合開催、プロトコル 7 制限付きの試合開催ともに改定 9. 競技規則、試合実施要項等の適用 (1) 交代選手数を 5 人まで認める FIFA のルールを適用する (2) 飲水タイムに関する通知は 2022 年 3 月 5 日付で実施	● 交代人数５名まで 7/30 競技規則改定に伴い特別ルールから定常ルールへ変更

プロトコル７レベル別改定

【表の見方】
・赤字は、今回の改定点
・太字下線はレベル２とレベル１の間で異なる点

No	レベル２	レベル１	改定ポイント
15	プロトコル７ XXXIII.メディア及び中継制作・伝送 ６．試合終了後の対応について (1)監督および選手の取材は、原則として対面形式の記者会見（Web 会議システムを使用したオンライン配信あり）**とするが、Web 取材のみも選択できる。主管クラブが感染状況やメディアの数、スタジアムや諸室の構造等を考慮して判断する。** (2)**選手の取材は、会見形式のみ対面取材を可とし、原則ミックスゾーンでの対応は行わない** (3)**ミックスゾーンの設置を希望する場合はリーグとクラブで相談のうえ決定する** (4)対面で実施する場合は、下記の条件を満たす取材環境を整備する ①会見は換気のよい場所で実施し、会場内での食事は禁ずる ②聞き手・話し手とも原則全員マスクを着用する ③話し手と聞き手の距離を少なくとも 1m、できる限り 2m 空ける ④ただし聞き手との距離が 1m 以上あり、かつ短時間（目安 10 分以内）で実施する場合に限り、話し手は発話時にマスクを外すことができる ⑤（削除）	プロトコル７ XXXIII.メディア及び中継制作・伝送 ６．試合終了後の対応について (1) 監督および選手の取材は、原則として対面形式の記者会見（Web 会議システムを使用したオンライン配信あり）にて行う。**ミックスゾーンについては、原則設置することとするが、下記の条件が満たせない場合は、クラブの判断のもと設置しないことも可とする。** (2)対面で実施する場合は、下記の条件を満たす取材環境を整備する ① 会見は換気のよい場所で実施し、会場内での食事は禁ずる ② **ミックスゾーンは混雑する動線を避け、屋外もしくは換気のよい場所で実施する** ③ 聞き手・話し手とも原則全員マスク を着用する ④ 話し手と聞き手の距離を少なくとも 1m、できる限り２m空ける ⑤ ただし聞き手との距離が 1m以上あり、かつ短時間（目安 10 分以内） で実施する場合に限り、話し手は発話時にマスクを外すことができる ⑤（削除） ⑥（削除） (3) 1m未満での対応や、長時間（目安 15 分以上）の対応、も	● 実態に即して見直し ● 2022-23 シーズンより、試合後の取材対応は原則として対面形式（Web 会議システムを使用したオンライン配信あり）とする。記者会見ならびにミックスゾーンを設置することとするが、条件次第では Web での対応のみとなる場合もある。 ● ガイドラインに定める会見室の出入口での消毒液の設置ならびに入室前後の手指衛生対策（手洗いや消毒）により、マイク自体の消毒は不要とする

No	レベル 2	レベル 1	改定ポイント
	⑥（削除） (5) 1m未満での対応や、長時間（目安 15 分以上）の対応、もしくはマスクを外 した会話などを行った場合、万が一同じ空間で陽性者が出た場合に、保健所 によって濃厚接触とみなされるリスクがある	しくはマスクを外 した会話などを行った場合、万が一同じ空間で陽性者が出た場合に、保健所 によって濃厚接触とみなされるリスクがある	

3．濃厚接触者の待機期間短縮

No	現行版	8/10 改定	改定ポイント
16	プロトコル 1 V.有事対応 20.陽性者発生時に保健所から濃厚接触者が特定されない場合 (1) 14.「暫定的な濃厚接触疑い者に関する WE リーグ基準」に該当する者は自主隔離を行う (2) 該当者は①～③の要領で健康観察と検査のもとに段階的にトレーニングを再開し、復帰の目安とする ① 解除の条件 ・ 自主隔離期間に無症状の場合は、5 日目の PCR 検査もしくは抗原定量検査（いずれも検体採取日が 5 日目）で陰性結果、もしくは 4 日目・5 日目の 2 回の抗原定性検査（鼻腔ぬぐい、以下同）の陰性結果をもって 5 日目から隔離を解除する ・ 自主隔離期間中に症状が出た場合や検査で陽性となった場合は、医療機関を受診し、保健所の指示に従う	プロトコル 1 V.有事対応 20.陽性者発生時に保健所から濃厚接触者が特定されない場合 (1) 14.「暫定的な濃厚接触疑い者に関する WE リーグ基準」に該当する者は自主隔離を行う (2) 該当者は①～③の要領で健康観察と検査のもとに段階的にトレーニングを再開し、復帰の目安とする ① 解除の条件 ② 隔離期間中の自主検査 ③ 隔離期間中のトレーニング（関連：プロトコル 3「8 つの活動段階」） ・フェーズ 2（在宅外の個人トレーニング）とする ※詳細は 8 月 1 日付 WE リーグ発信「濃厚接触者の待機期間短縮について」参照	● 8 月 1 日付 WE リーグ発信「濃厚接触者の待機期間短縮について」に基づき改定

WE リーグ新型コロナウイルス感染症対応ガイドライン　改定内容一覧【2022 年 8月 10 日】

No	現行版	8 /10 改定	改定ポイント
	・　検査は自主検査する ・　抗原定性検査を用いる場合、厚生労働省による薬事承認を得た検査キットを使用する ・　事情により検査を実施できない場合、7 日目まで無症状の場合は 8 日目より解除可とする ②　隔離期間中の自主検査 ・　抗原定性検査を用いる場合、4～7 日目に実施 ・　PCR 検査を用いる場合は、5 日目に実施（検体採取）し、その後 6 日目と 7 日目は抗原定性検査を行う ・　5 日目に隔離解除したあとも 6 日目と 7 日目は検査を行う ・　自主的な検査増は可とする ③　隔離期間中のトレーニング（関連：プロトコル 3「8 つの活動段階」） ・　フェーズ 2（在宅外の個人トレーニング）とする	陽性者・濃厚接触者・濃厚接触疑い者の療養期間 	